

ビット

(ビット)

作品

川のほとりで

(かわのほとりで)

あらすじ

寂しい三途の川のほとりに、4人の男女がやってきた。お互いにこれからのことで、ごねたり、なだめたり、すかしたり。しかし、やはり川を渡らねばならないのでは、と、皆が思う。思うだけのやつもいる。

主人公の健次郎は、最初は川を渡ることになりすが、段々と、「結論」をつけてしまうことに、恐怖を覚え始める。つけなければ、むしろ、つけたい、と思っていた筈なのに。

そんな健次郎の死をとりまいて、現世でも色々なドラマが動く。彼は思ってもいたし、思われてもいたのだ。

川のほとりの四人。その行く末は。

登場人物構成

男性 6名

女性 6名

指定無 2名

その他、声だけの役や、多ければ多いほうがいい役もあります

上演予定

なし

一言

ワークショップを通して、難しくないことを面白くするのって、結構難しいんだな、と考えることができました。なのでこの作品は、できる限りシンプルに、それでもちょっと伏線をいれて、という風に、コソコソと試行錯誤をしながら書きました。登場人物も増えたり減ったり、忙しかったです。ただ、ここまで思いっきり改訂の筆を入れられたのは、やっぱりワークショップのお陰かな、と思っています。おべっかでもなんでもなく、構造的に戯曲を見るテクニクは、とても実用的だったんです。今でも使ってます。

この作品もどこかでやりたいな、と思っているので、機会があれば、より良い形で、世間様に御披露目したいものです。

コンタクト

Email naoya.s13174@gmail.com